



TICA

—NEWS—

Vol.27 新春号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0085 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (076)442-1109 FAX (076)442-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



雨・風・雪にさらされながらも、穏やかで優しい表情で人々を迎えてくれる羅漢像

初春

五百羅漢

富山市西郊外・呉羽山の長慶寺の境内に五百羅漢の石仏があります。江戸時代の豪商・黒牧善次郎が中心となって佐渡の石工が彫った尊像を北前船で運んできたもので500余体あります。

あたりは、歴史の香りが静けさにとけこんで、木立に崇高なときめきさえ感じられます。

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会



(財)豊田市国際交流協会は、当協会とは運営形態も状況も異なるが、その環境、組織の概要、活動状況、そして経緯・現況・目標などを参考にしながら、そのエッセンスをつかみ、富山市にあった方法で、今回の研修を生かしたいものです。

また、産業技術記念館、名古屋ボストン美術館、そして熱田神宮など、産業・文化・歴史と紅葉を味わい楽しい旅でした。

ブイ チ トルン事務局長のあいさつから

- ・独自性・自主性をもつこと、専門性を高めること(国際理解、国際協力、NGO・NPO、在日外国人サービス、日本語教育など)が大切と力説。
- ・協会は市民全体のものである。「市民とともに」をスローガンに地域密着型を。事務局(職員数6名)はボランティアのサポート役である。

ブイ チ トルン氏(ベトナム出身)

30年前に留学生として来日。その後様々な活動の中でその手腕を買われ、協会の立ち上げに加わる。1992. 4. 1より事務局長。理想を現実化していくバイタリティーあふれる方でした。

●発見/工夫点/ポイント...!

- ボランティアスタッフ登録制度—会員制度なし
 - ・登録料1,300円(うち300円は保険料・毎年更新)
 - ・現在430名の登録あり
 - ・会員制度を作るとメンテナンスに人件費がかかり、会員のための協会になりがちになる
- 事業共催(スポンサー)を依頼
 - ・自治体・ライオンズクラブ・ロータリークラブなど
- 事業をしたら必ず報告書を作成し、販売する。
- 季刊誌(SUNFLOWER)発行
 - ・11,000部(全市民に無料配布)
 - ・製作費は約20万円、企業広告収入でまかなっている
- 講演会等の日程設定に工夫
 - ・対象を考えながら日程や場所を決める(男性対象、女性対象、平日、日中、夜間等、いろいろな方が参加しやすいように)
- ボランティアのためのボランティア講座開催
 - ・JC、ロータリークラブ等も巻き込み、地域密着型
- 外国人医療支援講座
 - ・健康保険サービス相談会、情報提供(119番など)
- 日本語ボランティア
 - ・会話クラス・文字クラス・子供クラス(未就学児童、主にブラジル人の子供たち)
- 市の広報誌に外国人向けページがある

●豊田市はどんなところ?

	人 口	外国人登録者数	内 訳		
			ブラジル	韓国・朝鮮	中 国
豊 田 市	34万	8,793	5,004	1,885	579
富 山 市	32万	2,761	509	879	554
富 山 県	112万	8,443	3,419	1,684	1,381

豊田市国際交流協会訪問を終えて

姉妹友好都市委員会 塩原 明男

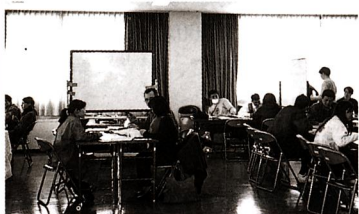
連日秋晴れの好天に恵まれ、参加者一行は市内の中心部にある緑の木立に囲まれた国際交流協会を訪問した。

国際センターの玄関ロビーには、豊田市在住の数か国外国人向けの案内書、緊急医療書、市内にある催し物案内など親切丁寧に資料整備されている様子が眼前に飛び込んできたのには感動させられた。豊田市在住の外国人は毎年増加の一途をたどり、今や市民との間に多くの生活問題が生まれてきており、市民自身が市民の手で、市民による問題解決が迫られてきている状態である。

ベトナム生まれのブイ チ トルン事務局長は大学で教鞭を取っている。また職員は全員大学院卒の専門職員と聞く。多文化の人々と共生の町づくりを目指す豊田市は人口34万人の工業都市である。その労働力を側面で支える外国人労働者、その家族、子弟を含め市の人口の1%を占める。

豊田市国際交流協会がめざす4つの目標(1)多文化の人々との出会い(2)地域ボランティア活動(3)国際理解教育(4)外国人との共生を柱に運営されている。活動は市民ボランティアが全面に立ち、過去10年間の積み上げがあると聞く。

これらの活動を支える財政面のトヨタ自動車、豊田市当



日本語ボランティア講座

局、ネットワークづくりの要の事務局の専門性、自主性、外国人との共生活動への配慮に独自なものがみられた。

事務局長の日本留学体験から得られた異文化理解のカギが実現されているように思えた。

研 修 視 察

地域交流委員会

亀田 文子

11月21日、恒例の研修視察で名古屋市、豊田市を訪問させていただきました。楽しいバス旅行となり、車窓よりながめるこの時期最高の紅葉を目にして名古屋へ。

1日目の訪問先は名古屋市の産業技術記念館で豊田グループの「モノづくり」と「研究と創造」の歴史を学び、ボストン美術館では岡倉天心の作品を鑑賞、美の奥深さに感嘆。

2日目は今回の目的である豊田市の国際交流協会を視察、会場では在日外国人に日本語を教えるボランティア活動が行われていました。指導者の殆どが若い人達で占められ活気に満ちたグループ活動に感心させられました。

また、病院等の施設では外国人の人達のための案内明示がボランティア活動によってなされていることをお聞きし、日本語の充分理解できない人達に対して細やかな心配りがなされていることにも感心させられました。

今回の研修視察を企画された方々に心より感謝しながら豊田市を後にしました。

人として生まれたからは

- 人は優しく
- 人は美しく
- 人はたくましく
- 人は協調性を持って

私は、国の平和、家庭の平和はそこから生まれてくるように思っています。



産業技術記念館

日本伝統文化講座

日本舞踊



講師
花柳源香さん

10月17日
当センター

アメリカ、中国、インド、インドネシアほか富山在住の留学生や外国の人たちに日本舞踊を通して日本の文化を紹介しました。

はじめに着物の着付けを習って、「日本の着物を着ることも楽しみで参加しました。」とおおよろこび。着物姿で童謡「もみじ」の振り付けを習い、造花のもみじの小枝を持って踊りました。「こうして座って、手を着いて…」と日本の礼儀作法も習いました。

参加者たちは、「脱いだ着物の畳み方、仕舞い方も習って、日本文化を楽しみながら体験できました。」と、大喜びでした。

茶 道



講師
亀田文子さん

11月28日
当センター

富山在住のミャンマー、マレーシア、バングラディシュ、中国ほか外国の人たち30数人が参加しました。

はじめに「茶道」の歴史などについて説明があり、講師のお点前を拝見しました。続いてインドのセンルバナランさんが、足の痺れを堪えて指導を受けながら、お点前を披露しました。参加者たちは、苦いとか、おいしいとか和やかな雰囲気でお茶を一服いただきました。「お茶わんをまわすのはなぜ？」とか、「懐紙のたたみ方は？」などの質問もあり感心したり笑ったり。そんな中にも一瞬の静寂があって、茶道というものを感じ取ってもらえたように思うのですが…。

1999年を送る会

日本伝統文化講座に参加した留学生や富山在住の外国の人たちと協会員たちが、一年を振り返って思い出話をしたり、また、外国の人たちから自国の文化や生活について話してもらったりする異文化交流をしました。三味線に乗せた歌に合わせて、いろいろな形を作る玉すだれ芸は喝さいを浴びました。お茶とお菓子とミニステージをたのしみながら、1999年を送るとともに2000年への望年会をしました。

- ・ミニステージ
大正琴(日本の伝統楽器)
南京玉すだれ(日本の伝統芸能)
門嶋友美・茂泉亜矢(ミニミニコンサート)



12月19日
当センター

地域交流委員会

外国人お嫁さん交流会

恒例となつてまいりました「外国人お嫁さん交流会」は、身近にある材料で簡単なものをみんなで楽しめるようにと心がけて毎回工夫しながら進めております。

参加者たちは、周りに近親者や知人が少なく、また、子供たちも一緒に参加できるので「交流会」を楽しみにしているそうです。

お菓子づくり



10月21日
エルフ

日本の「さつまいもケーキ」「茶巾しぼり」「三色団子」そして、中国の「春餅(チュンビン)」を作りました。

チュンピンは、強力粉を熱湯で練り、薄くのばして焼いて甜面醬(テンメンジャン)を付けて、それにねぎの細切りやいろいろなためものを巻いて食べます。具は肉でも甘い餡物でも工夫するといろいろたのしめます。

「三色団子」も簡単に作れておいしいと大変人気がありました。

さよなら 1999年 パーティー



12月10日
当センター

お料理教室や人形づくり、遊びなどを通して、楽しみながら少しずつ交流を広めて来たいろいろな国出身のお嫁さんたちの会は、少しずつ仲よし仲間になれたようです。「昼食を一緒に食べながら1999年を振り返って新しい記念の年 2000年を明るく迎えましょう。」と、会費制のパーティーを催しました。お寿司やピザやお菓子、果物などが並び子供たちも大喜びで一緒に歓談しながら賑やかなパーティーとなりました。ビンゴゲームを楽しんだり、また、来年の予定なども話し合いました。

ボランティア委員会

International Speech Academyクラス



講師
宇尾野逸作氏
富山大学名誉教授

11月16日
当センター

アメリカ、ドイツ、中国などの留学生や研修生たちも参加してインターネット時代における英語の果たす役割などについて意見交換をしました。初めに「Globalization of English and Culture」という提題で、アメリカの未来学者アルビン・トフラーの主張を紹介しながら「インターネットがもたらす情報化が人間同士の隔絶したコミュニケーションを取り戻すきっかけになり得る」と説く講話を聴いた後、「英語であらゆる国の文化を伝えられるか」のテーマで討論しました。英語の重要性を十分に認識しながらも「各国固有の言語文化も尊重しなければならない」などの意見もありました。これらの講話、座談、討論など全て英語で行われました。

国際教養委員会

国際交流フェスティバル'99

1999年11月6日(土) 13:00~18:00
11月7日(日) 10:00~17:00

富山市民プラザ&大手モール (市民プラザ前)



実行委員長あいさつ

人に対して国際交流や協力に関する活動及び情報等を広く提供しました。また、これを契機に国際交流や協力活動の活発化と、より多くの市民の理解と参加協力を求めることを目的に行われました。

小川弘実行委員長の開催挨拶で「国際交流フェスティバル'99」が始まりました。フェスティバルでは、県内の国際交流・協力団体や在外国人、ボランティア団体等の参加協力により、市民や外国

観る・聞く

- 6日**
- 13:30~ フライブルグ・スライド紹介 (日独友好協会富山、自然・野生生物映像祭'99 (地球映像ネットワーク) 優秀作品上映)
 - 15:00~ 青年海外協力隊帰国報告会 (主催 国際協力事業団北陸支部/とやま国際センター 共催 富山県青年海外協力隊を育てる会/青年海外協力隊富山県OB会)
 - 15:30~ 日韓友好コーラス (さくらコーラス)
 - 15:50~ ネパール海外協力活動講演 (シャプラニール)
 - 16:50~ ネパール民族舞踊 (シャプラニール)
- 7日**
- 10:00~ ガーナ紹介講演&スライド (AJA FOUNDATION/青年海外協力隊富山県OB会)
 - 13:30~ EXPO 2000 スライド紹介 (日独友好協会富山)
 - 15:30~ ピアノ演奏 (日独友好協会富山)
 - 16:30~ 室内楽コンサート (桐朋オーケストラアカデミー)
 - 18:00~ 京劇「孫悟空」(陳建強)



ステージ

- 6日**
- 13:00~ オープニング
 - 13:15~ 外国人カラオケ大会 (県内在住の皆さん)
 - 14:20~ 国際平和友好合作歌 (宮本エブリンほか)
 - 14:40~ ネパール民族舞踊 (シャプラニール)
 - 15:00~ マンドリンアンサンブル (前田和彦ほか)
- 7日**
- 11:00~ ヒップホップダンス (シューティングスター)
 - 11:30~ サンバ (県内在住のブラジルの皆さん)
 - 13:00~ 源多良太鼓 (富山県日中友好協会)
 - 13:30~ 日中友好コーラス (漢語橋と中国の皆さん)
 - 13:50~ 韓国の歌 (富山市民国際交流協会ハングル教室)
 - 14:00~ ヒップホップダンス (シューティングスター)
 - 14:30~ サムルノリ (韓国慶一高校)

熱唱するカラオケ大会



交流がひろがる23のブース

味わう

- 6日 7日** 各国料理店 (インドネシア、韓国、タイ、中国、マレーシアなど)

知る・出会う

- 6日 7日** とやまの国際交流・協力団体大集合
各国手芸品販売、チャリティーゲーム、活動紹介、遼寧省友好パネル他展示、体験コーナーなど
- 7日** 18:00~ 中国家庭料理をかこんでの交流会



ゆかたを試着

日本文化体験「茶道」

体験コーナー

- 6日 7日** 世界の民族衣装試着&撮影
マレーシア・中国の遊び、ベナンの太鼓教室など
- 7日** 13:00~ ワークショップ (とやま国際理解教育研究会)
日本の文化体験



試着&撮影を楽しむベナンのザカリさん親子とスーダンのガーディさん



▲マレーシアの遊び

▲にぎわう民族衣装試着コーナー

フェスティバルの最後の交流会は、会員たちの手作りの「中国家庭料理」を囲んで、陳建強さんの京劇「孫悟空」でステージをたのしんだり、ポップスの曲ののってみんなで踊ったり、また、次々に運ばれる料理を味わったりと、にぎやかなフィナーレでした。



参加団体

AJA FOUNDATION/ウィメンズ・ウィング・トヤマ/オイスカ富山県フレディース/言語交流研究所ヒップファミリークラブ/国際ソロプチミスト富山/青年海外協力隊富山県OB会/地球映像ネットワーク/富山医科大学留学生会/富山県青年海外協力隊を育てる会/富山県青年国際交流機構/富山県日韓親善協会/富山県日中友好協会/日本ロシア協会富山県支部/とやま国際理解教育研究会/富山市翼の会/富山大学韓国留学生会/富山大学マレーシア留学生協会/富山・中国ネットワーク/富山日豪ニュージランド協会/富山ユネスコ協会/日独友好協会富山/フィリピンの孤児を支える会/婦人会富山支部/もっとうオスを知る会

寄稿

ご寄稿ありがとうございました。これからも、みなさまの声を届けていきたいと思ひますので、よろしくご協力下さい。

私の日本とアルゼンチン

アルゼンチン共和国
土居 マリア ジルビーナ 秋子さん

日本での9カ月いろいろなことがあった。
私のおじいさんは、福光に住んでいました。後でアルゼンチンにいった。私は子どもの頃から、おじいさんのふるさとは何だろうと思っていた。

私が日本に来る理由の1つは、私の専門である新聞記者のトレーニング、その後で私の部分の1つを探すこと…。



中央が秋子さん

それは、アイデンティティーということが含まれています。なぜかという、私は日系人だから、疑いがあった。今もわからないけど、私は、アルゼンチン

人か日系人か、どこの部分が重いかわからない。

私が発見したのは、もっと大切なことです。国籍よりもっと大切なことなんです。私は私です。大変簡単なこと発見しました。簡単で薄いけど深いことだと思う。

私の国のことを考えたり、私の国のことを深く調べてみたり、私の家族のことも考えてみたり。私の過去のこと、私のおじいさんの国のことも、よく見ることができたので説明するのが難しいのですが、9カ月の間に本当に本当に本当に、すばらしい探検をしました。

一番最初に驚いたことは、目に見えることだった。若者の着方、短いスカート・ブーツ・長ぐつ・高い高い靴・変なファッション。

日本語が話せなかったから、手振りとか、英語を使っていました。その状態の時、自分一人で練習したけど、御世辞、尊敬のことばが一杯あった。“お疲れさま” “ご苦労さまでした” “ごちそうさま”。今、全部頭に出てこないけど、毎日使っているけど、一人で練習したけど、後で気付いたことは、あまり良くない表現です。御世辞のことばは、たくさんあるけど、表現だ

けです。ことばだけです。多分、心から言っていないことです。いつも、心から言っていない。でも、尊敬は本当に大事にしている国民。

あと、他のいいことは、日本は自然も大事にしている、守っている。私の国だったら、すばらしい自然がたくさんある。多分、世界的にすばらしいと思うけど、守りの意識はない。アルゼンチンはお金がないし、いろいろな問題があるから…言い訳になるけど。

日本にあることは、歴史的に大事なことから、遺跡、文化財とかも良く守っている。日本という国は、昔と現在は同時に進んでいる。同時に生きている。暮らしている。それは本当に信じられないこと。日本はアイデンティティーをもっている。

私はもっともっと、日本のことを知りたい。私は新聞で記事を書く時、私の表現を使うと、他の新聞記者に読んでもらってもわからない。それは、ことばの問題ではない。それは違う文化のことです。表現の問題、考え方の問題もある。もし、私は日本語がよくわかって日本人の考え方がわからなかったら、それは、ことばだけわかるのは意味がない。

国際交流協会のみなさんにも感謝したいです。日本の伝統文化の紹介で、こんな立派な先生たちに会えることを想像できなかった。本当にありがとう。

私にとって日本に来る機会は、多分この機会だけです。だからこのような人たちが、私たちのことについて心配して下さることも本当にありがたいこと。いつもいつも毎日毎日、私は楽しみに国際交流協会に行っていました。最後の時とか、おもちつきの時、座禅の時、生け花の時、いろいろあった。本当にありがとう。私たちのことについて、心配しているから本当にありがとう。自分の国は遠いです。ありがとうございました。また会う機会があったら私は又、楽しみにしています。

(この文章はテープによる寄稿です)



富山県技術研修員として来日(平成10年6月から平成11年3月まで)北日本新聞社で研修

富山市ーモジ・ダス・クルーゼス市姉妹都市提携20周年

富山市とモジ・ダス・クルーゼス市は、姉妹都市を提携して今年で20周年を迎えました。これを記念して日系二世のモジ市元副市長 森昇氏を団長とするモジ・ダス・クルーゼス市親善訪問団一行10人が、10月24日から27日まで富山市を訪れました。富山市役所を表敬訪問の席上で正橋市長は、2002年サッカーW杯のキャンプ地としてブラジルチームが富山市を選ぶよう誘致に協力してほしいと要請しました。

富山国際会議場で記念式典が行われ、記念講演会では、森団長が「モジ市の現状と将来」と題して講演しました。また、歓迎会も催されました。



10月25日 大手町フォーラム

台湾大地震・トルコ大地震被災者救援「募金」に、ご協力ありがとうございました。

みなさまのあたたかい善意は、日本赤十字社を通して贈りました。(募金額 52,962円)



21世紀へ飛躍する北東アジア

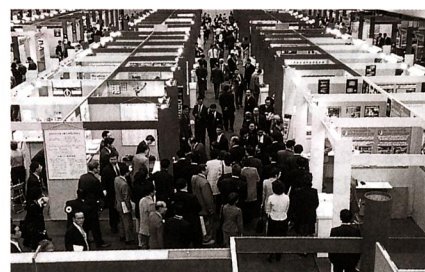
北東アジア経済交流EXPO

Northeast Asia Region Economic Exchange EXPO toward 21

NEAR21

1999. 10. 13~10. 15

北東アジア地域（日本、中国、韓国、ロシア、モンゴル）の総合的な経済交流の促進と活性化を目的に展示商談会や投資環境説明会、経済交流シンポジウムなど「NEAR21」が、10月13日から15日までの3日間、テクノホールをメイン会場に開催されました。日本で初めての北東アジア見本市には、国内外の企業関係者約1万人が来場し、環日本海交流の促進に大きな成果をあげました。



にぎわう展示会場 テクノホール

「NEAR21」関連事業

日本語教育セミナー

海外からの技術研修生受入にあたって日本語学習を含む一般研修を実施しているADTS（奨海外技術者研修協会）の主催により実施されました。

外国人に対する日本語教育の中で、会話力を伸ばす効果的な授業の進め方や、外国人と日本語で話す場合の注意点ほかADTSの日本語教授法を紹介しながら進められました。

当協会からも日本語講師等が10名参加しました。



10月13日 テクノホール会議室

第20回 とやま外国人による日本語弁論大会

富山県青船会

富山在住の留学生や企業に勤めるマレーシア、韓国、ベトナムなど8ヶ国の外国人8人が、日本語で熱弁を振るいました。最優秀賞は、スリランカ出身の富山商船高専学生フェルナンド ディルジャンさんが受賞しました。フェルナンドさんは『私の発見』と題して、「日本人は、クリスマスやお正月など行事ごとに宗教が変わったり、仏教やキリスト教、神道よりも働くことを宗教として考えているように思われる。信じるものがなくなっているように思え、何か信念を持つのも心と心を大切にする必要があるのではないか。」と、日本人観について発表しました。このほか、外国人から見た日本、日本で経験し考えたこと、国際交流にける熱意などそれぞれの思いを発表しました。

外国人による日本語

主催 富山県青船会



11月7日 サンフォルテ

チャリティーバザー

留学生のための生活応援

T・H・H（トヤマ ハンド イン ハンド）

16回目を迎えて、今回からは、これまでの富大留学生会館から富大学生会館に会場が変わりました。会場がグリーンと広くなったので品物は並べ易くなり、ゆっくりと選び易くなりました。

開始12時を待ちわびて100人以上も並んで大にぎわいでした。向寒用の冬物衣料や布団、暖房具などウェアと売れていきました。「日本で初めての冬は、たのしみのように不安のようで…。雪も初めてです。」と、セーターや暖房具を買った留学生は「親切、大変うれしい、感謝しています。」と、何度も「ありがとう」を言っていました。



いきました。T・H・Hの仲間たちも喜んでもらってうれしい！

11月13日
富大学生会館

中国朋友と話そう会

富山・中国ネットワーク

「中国朋友との気軽な会話を通して、生の中国語、真の中国にふれよう」と「茶話会」を開催しました。中国の留学生、研修生と会員ら56名が参加して菊茶や中国の干し芋、カボチャの種などを味わいながら日本語、中国語を交えて歓談しました。グループに別れて、ぎょうざやしゅうまいなど食べ物のことから、日本での生活の悩みまで話し合いました。

楽しく話し合うなかから、お互いを理解しようと努力し、それぞれが抱える問題を解決する緒を見つけ出そうとする姿にこの会の意義を感じました。



12月5日 当センター

ワークショップ『平和』について

TIE (とやま国際理解教育研究会)



楽しくからだを動かしたり、写真を見たり、人の話を聞いたりしてみんなで一緒に考えよう！

新しい発見や気づきがきっとあるはず…。と『平和』

についてのワークショップが行われました。

「今の世界は平和だと思うか」また、「有事の際の自分達の行動は」を考えたり『平和』とは何か、と改めて考え直し、平和を保つ、或いは、より平和にするために自分たちにできることを考えました。ワークショップ終了後、参加者たちは「みんなで考え合い話し合っただけで多くのことを気づかされた。」「こんなに真剣に考えたり、自分の考えを素直に発表したことが、今まであまりなかったように思う。」などの感想がありました。

『ネパール』市民による海外協力活動講演会と民族舞踊

婦翔会富山支部

シャプラニール＝市民による海外協力の会スタッフである定松栄一氏は、ネパールの貧困生活の状況をビデオで観ながら説明講演されました。貧しさのため学校へ行けず文字の読み書きができない人が多い。自分の名前を書く練習から文字の勉強を始め、識字意識を変える活動や、水道建設をして女性の水汲み労働を緩和したことや、女性たちの手作りの手工芸販売の協力など「援助が必要だ。」と実情と活動を報告されました。

また、ネパールの舞踊家サンディア・グルンさんは、恋をした少女の想いや、出稼ぎに行った夫の身を案じる新妻の心境など、ネパールの女性たちの優しさなどを表現した4曲を、色鮮やかな衣装で華やかに踊りました。



を案じる新妻の心境など、ネパールの女性たちの優しさなどを表現した4曲を、色鮮やかな衣装で華やかに踊りました。

アフリカを 知ろう！ ガーナってどんなところ？

青年海外協力隊富山県OB会
AJA FOUNDATION

西アフリカにあるガーナ共和国。JICA(国際協力事業団)ガーナ事務所に勤めているブカリ・イサーさんが来日し、ガーナの魅力を紹介してくれました。ガーナの子供たちは、家の手伝いをよくする。貧しくて学校に行けない子供たちもいる。それから、「ガーナの食べ物『フフ』は、キャッサバという芋をゆでてついたもので日本のお餅のようなものだ」と実物の臼と杵や生活用品も見せながらガーナの生活について説明しました。「日本人とかかわってもう20年になる。日本人が、とても好きだから20年もつき合っただと」と話し、最後に「世界は一つ、みんな仲よくしていきたい。ガーナへぜひ来て下さい」と。



ゆかた姿のブカリさん

青年海外協力隊帰国報告会

国際協力事業団北陸支部

青年海外協力隊員として、2年間体験した(平成9年7月～平成11年7月)活動や生活についてスライドを使って報告されました。

富田由紀子さん(派遣団：パラオ 職種：看護婦)

パラオの病院は、考えていたよりも建物も設備も整っているように思えた。援助や支援で贈られた最新の医療機器等を操作する技能が不足しているために、異常警告ブザーがなるとコンセントを抜いてしまうという驚くような現状の報告がありました。

若木瑞穂さん(派遣団：中国 職種：日本語教師)

日本語教師としてのいろいろな活動報告のほか、アパートの近所の人たちからうけたあたたかい親切や日常生活の中で体験したエピソード等を報告されました。

会場は大入満員で、大盛況でした。



ボランティア通訳者セミナー

(財)とやま国際センター

ボランティア通訳・翻訳者を対象にしたセミナーが開催されました。

2部構成で第1部は基調講演「私の映画人生—映画の魅力、表と裏」と題して、映画「タイタニック」などの翻訳で知られる字幕翻訳家の戸田奈津子さんが講演されました。戸田さんは「楽しみながら身に付けるのが語学上達の一番の近道」と話され、また、「いくら外国語ができて母国語の知識が充分でなければ翻訳・通訳もうまくできない」とも話されました。第2部パネルディスカッション「未来を拓くあなたの語学—地方でいかに学び活かすか」をテーマに県内で翻訳・通訳・日本語ボランティアとして活躍している3人のパネリストが、それぞれその魅力や活動内容、また、経験や勉強方法などについて発表しました。会場からの質問も真剣で熱気があふれていました。当センターで日本語ボランティアとして活躍中の原和子さんがパネラーの一人として出席されました。



12月5日 タワー111



いきいき富山と私

魏 名 婕

(富山市行政課研修生)

Hello! 中国から参りました。

平成11年9月から12年2月まで、日本の行政と日本語を学ぶために富山に来ました。

来た当時は、まだ残暑の厳しい頃ではありましたが、整然とした街並みを濃い緑が埋め尽くし、時折吹く涼しい風に酷暑の辛さを忘れてしまいました。やがて、秋本番に入り、樹々の梢も美しくいろづき、紅葉も更に鮮やかになり、また、最近、私の目を奪

う初雪の立山連峰をまるで絵のように美しく感じています。そして、これから迎える雪化粧の富山に心から期待しております。

まもなく、富山で新しい年、2000年を迎えることになりますが、この偶然は必ず一生の一番美しい思い出になります。帰国してから、秦皇島とこのようなすばらしい、いきいきとした富山市の友好交流のために、自分の力をさげたいと思っています。



食事に通う中華飯店・店主の奥さんに日本の着物を着せてもらいました。

お知らせひろば

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 442-1109 FAX 442-3807

International Speech Academy クラス

「ヨーロッパとハンガリーの今日」

ーコンピュータは私の仕事と趣味ー

提唱者 カチョール イスティヴァン氏
立山システム研究所課長

・と き 1月18日(火) 18:30~20:00

・ところ 当センター

講話、座談、討論などすべて英語で行われます。

ボランティア委員会講演会

「教育におけるボランティアの役割」

講師 廣田 憲一氏(当協会理事)

富山市立芝園中学校長

・と き 1月29日(土) 13:30~15:00

・ところ 当センター

地図で歩く世界の旅

「ラオス人民民主共和国」

案内人 サイボン ブンシュエーさん

・と き 1月30日(土) 13:30

・ところ 当センター

国際交流カレッジ

「異文化との出会いーイスラム社会での体験」

講師 上村 清氏

富山医科薬科大学医学部助教授

・と き 2月1日(火) 13:00

・ところ 当センター

新春のつどい

・と き 2月5日(土) 13:00~15:00

・ところ 富山市駅前CICビル5階 多目的ホール

・会 費 外国人 1,000円 日本人 2,000円

※外国の人たちと一緒に歌やゲームで交流しませんか。

海外研修

・と き 2月9日(前日夕方出発予定)~13日

・ところ マレーシア

・定 員 20名程度

・旅 費 120,000円(予定)

チャリティバザー 台湾トルコ大地震被害者救援

・と き 2月19日(土) 10:00~14:00

・ところ 当センター

・バザー品 タオル、石けん等日用品、手持ちの手芸品、アクセサリ、置き物など(衣類品は除く)

※提供品受付 1月11日~2月17日*ご協力お願いします。

モジ市へ古本を送ろう!

・本の種類 文庫本、ミステリー、エッセー、小説など
(専門書、雑誌、まんがなどは除く)

・と き 3月14日(火)~19日(日)

・ところ 当センター

編集後記

MILLENNIUM 新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくおねがい申し上げます。

記念の年、新千年紀の節目に遭遇できたことに感謝しております。

1999年11月14日、富大留学生のエジプト出身アハメッドさんマナルさん夫妻に赤ちゃんが生まれました。1週間前の国際交流フェスティバル'99の会場で林和夫副実行委員長に大きなお腹のマナルさんを紹介して「ベビーベットのほしい。」ことを話しておりました。それから数日後、林さんから「子供たちが使っていたものが家にあったのでネジなどもきちんと整備して国際交流協会に届ける。」と電話がありました。早速、アハメッドさんに連絡して渡しました。また、協会会員の川瀬さんからベビー布団やベビーカーをいただきました。アハメッドさんたちは大よろこびで「感謝の気持ちを伝えてください。」と何度もお礼をいいました。「自国から遠く離れて出産は不安がいっぱいありました。たくさんの人たちからたくさんの親切を受けました。ベビーはAbd El-Latif Ahmed(神様からのさずかりものという意味)と名付けました。みんなの心に感謝して、ベビーはしっかり育てて、このことをきちんと伝えていきます。」と。中国の陸さんもバングラディシュのマモさんも、インドネシアのウィウィドさんも日本で赤ちゃんが生まれました。そして、周りの人たちにお世話になって大よろこびでした。ささやかな草の根の交流は、多くの人たちの心を癒していきます。21世紀は、このベビーたちが担って世界中を心で繋げてくれることを願いたいものです。

では、今年もご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

広報委員長 岡田昌代